

Rotary

奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2934号 2021年12月14日(曇り) 第22回例会 会員数113名

点 鐘 倉井 章会長  
司 会 副SAA 山崎会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持帰り弁当 前菜 鶏の柔煮 鰻巻 ヒレカツ  
サラダ添え 白身魚油淋ソース 芹御飯

ビジター紹介 加藤会長エレクト

◇来訪ロータリアン

1名(2クラブ) 累計26,584名

宇都宮RC

副会長・クラブ奉仕委員長 大矢裕啓様

クラブ会報委員長 平出宣幸様

◇卓話講師 宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)

随員 秘書課 池田健太郎様

◇米山記念奨学生 テット チャンソティア君

米山記念奨学生 葉姿君(世話クラブ足利東R  
C・サブ世話クラブ宇都宮東RC)

会長挨拶 倉井 章会長

皆様、こんにちは。大変寒い中ご参加いただきありがとうございます。アメリカの南部など広範囲で大きな竜巻が直撃し、いまま救助活動が続いているようです。ケンタッキー州だけで74人が死亡、109人の安否が不明。5つの州をあわせて88人の死亡が確認されています。お亡くなりになった方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方のお見舞いを申し上げます。安否の不明な方の無事をお祈りいたします。

新型コロナですが、県内の新規感染者もゼロの日が多く沈静化しそうな状況ですが、一方でオミクロン株の陽性者が増えてきております。今後の状況を見守りたいと思います。

今月12月は「疾病予防と治療」月間です。こ

度のパンデミックで、疾病が地域社会にもたらす打撃を知ることになりましたが、疾病との闘いは世界中のロータリアンが何十年も前から尽力してきたことであり、ロータリーの7つの重点分野の一つでもあります。シェカール・メータRI会長は、ぜひ疾病の予防と闘いに重点をおいてくださいと言われております。6月に退会された塚田会員より、医療従事者のためにと寄付をお預かりしておりましたので、理事会の承認を得ましてスマイルよりの拠出金と共に、50万円を栃木県医師会に寄付させて頂きました。当日は下野新聞社の取材を受け、12月3日付けの新聞に掲載されております。感謝状もいただきました。



さて、My Rotaryの中に、ロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の歴史がありましたので、簡単に紹介させて頂きます。

今から110年前の1911年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合会の第二回ロータリー大会で「He Profits Most Who Serves BEST」がロータリーの標語として承認され、職業奉仕の原点となっています。これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。シェルドンはその演説の中で「他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的な

奉仕の科学である。その仲間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」と語っており、すなわちシェルドンは、報酬を受けるために仕事をしているのではなく、職業を通じて社会に奉仕したから報酬を受けているというのです。社会に大きな奉仕をすれば、必ず大きな報酬が得られるのだし、少ししか奉仕をしなれば、少しの報酬しか得られないというのです。ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけともなりました。大会中、ミネソタ州ミネアポリス・ロータリークラブの会長、ベン・コリンズは、シアトルのロータリアン、J. E. ピンカムと、ロータリークラブを組織するのにふさわしい方法について話し合っていました。その中でコリンズは、自分のクラブで採用していた理念「無私の奉仕 (Service, Not Self)」を紹介しました。ピンカムは、ロータリー創始者、ポール・ハリスを呼んで会話を続けました。ハリスから依頼されコリンズは大会で演説を行い、この文言「無私の奉仕」が熱烈に歓迎されたのです。

この2つの標語は、40年後の1950年にデトロイトで開催されたR I国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He Profits Most Who Serves Best)」と「超我の奉仕 (Service Above Self)」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。1989年の規定審議会では、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択されました。これは、この言葉が利己的でないボランティア奉仕の哲学を最もよく言い表しているとの理由からで、永年ロータリーの奉仕理念の基本中の基本であり、米山梅吉氏は、日本人にとっては「サービス第一、自己第二」という訳の方が分かりやすいと言われています。

本日は、当クラブの名誉会員でもあります佐藤市長の卓話がございます。佐藤市長、宜しくお願ひ致します。明日、作新学院大学RACの石田ガバナーオンライン公式訪問がございます。ご登録の会員は忘れずにご参加お願いいたします。

#### ◇奨学金の授与

米山記念奨学生 テット チャンソティア君

#### ◇設立70周年記念式典のご案内

宇都宮RC 大矢裕啓様 平出宣幸様

宇都宮RCは1951年12月7日に東京RC・神戸RCをスポンサークラブとして設立、1952年RIの認証をいただきました。記念式典はコロナ禍を考慮し2022年2月25日(土)に、第3Gのバスターガバナー、会長、幹事をお迎えし、コンパクトな式典、祝宴を予定しています。記念事業は、時代に即した、一過性に終わることのない長く展開していけるものと考えています。



#### 幹事報告

渡邊和裕幹事

◇12月21日 夜間例会・年忘れオンライン例会

◇本日18時30分～ ホテルニューイタヤにて

倉井年度第7回定例理事会開催。



#### 委員会報告

◇出席委員会

岡田委員長

<皆出席表彰・11月分>

連続35年 鳥居利一郎会員

連続25年 秋元 吉博会員

通算14年 稲見 京二会員

連続11年 山中 和弥会員

連続 8年 鈴木 明会員

通算 7年 金田 剛会員

連続 7年 清水 秀修会員

通算 2年 関 元明会員

◇スマイルボックス委員会 手塚委員長

宇都宮ロータリークラブ 大矢裕啓様

宇都宮ロータリークラブは1951年12月に設立し第2550地区の皆様にご支援・ご協力のもと本年度70周年を迎えることができました。感謝申し上げます。

若井 勲会員

先日12日の大人の休日ゴルフで優勝しました。ありがとうございました。

渡邊有規会員

大人の休日にてありがたいことに準優勝をいただきました。パートナーの皆様、大人の休日の皆様、感謝申し上げます。

倉井 章会長

先日の大人の休日ゴルフでニアピンを2ついただきました。ありがとうございました。

太城敏之会員

12月12日の大人の休日の良いことがありました。ふ・ふ・ふ。

#### 「3分間スピーチ」

手塚正智会員



皆様、こんにちは。今年度スマイルボックス委員長を務めさせて頂いております。入会11年目です。改めて自己紹介をさせて頂きます。

私はクラブ創立50周年の2010年9月、太城会長の年度、倉井現会長が幹事の年度に入会しました。入会時は、年齢が渡邊(和)幹事に次いで2番目に若かったです。現在は13番目になり

ました。入会直後に創立 50 周年記念事業の田川いきいき計画やクラブ創立 50 周年記念式典が盛大に開催されたことを思い出します。職業分類では麻酔科です。麻酔科は手術の際、麻酔を担当する医師です。入会時はこの近所の病院に派遣されており手術部部長兼、麻酔科医長でしたので職業分類は麻酔科になりました。その後、実家である手塚内科に戻り内科の診察をしておりますが、未だに週に一度ほど麻酔をしております。麻酔科医であり、内科医でもあり、もうひとつ好きでなった訳ではありませんが警察医もしております。歴代の宇都宮東警察署長さんが卓話にいられていましたが、平成 25 年 6 月から警察協力医を拝命し、令和 2 年度から警察医になりました。詳しい話は別の機会があればお話したいと思います。

ロータリークラブでは坂田年度、若年度、渡邊(有)年度で副幹事、五味淵年度で幹事をさせて頂き、委員長・副委員長も幾つかさせて頂きました。また、太城会員より野球部を発足しようと言う事となり、初代キャプテンとして 4 シーズン勤めさせて頂きました。うち地区記念大会では 2 回準優勝を勝ち取りました。野球経験者で入部希望の方がおりましたら、金子キャプテンや私など、野球部員にお声掛けください。現在は実働部員約 20 名になりました。スポンサー会員も絶賛募集中です。御協力宜しくお願い致します。そして一緒に甲子園を目指しましょう !!



## 卓 話

「未来都市うつのみや ～スーパースマートシティ～」  
宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)



皆様、こんにちは。今日はコロナも含めてお話を進めていきたいと思っております。

- 資料とパワーポイントにて説明 -

コロナウイルスの感染状況ですが、年代別では 20 代の方が多いのが特徴です。宇都宮市の PCR 検査数は約 10 万件をこなしてまいりました。ワクチン接種の状況は、接種対象の 12 歳以上の市民約 47 万人の接種率は 80% を優超えています。

国発表の都道府県別では分母が市民 52 万人で算出されていますので、70% と少なく思われるかもしれませんが。コロナウイルスに対する宇都宮市の経済対策ですが、宇都宮の特長は、宮の事業者支援金などを駆使し、緊急事態宣言等営業時間の短縮の協力金を市独自でおこなったり、パーティションや空気清浄機の購入のための補助金も市独自で展開しました。宮の食ベトクチケット、宮の買いトクチケットの発行、また、プレミアム観光クーポンの用意もいたしました。

世界の人口ですが、現在 78 億人、2050 年には 97 億人、2100 年には 109 億人と予測されますが、人口が増えればエネルギーや食料も足りなくなります。我が国は食料を輸入に頼っていますので、国に食料やエネルギーが届かないということになりかねません。宇都宮は、食料が安定して提供が出来るように、農業に力を入れ農業改革を進めています。是非皆様も地産地消で宇都宮の農業を守り、育てていただきたいと思っております。

人口が安定、或いは増える国は、好循環を生み出すのが特徴だと思います。宇都宮が目指すのは、東京圏や大阪直等、三大都市圏から人や企業を呼び込んで人口を安定させる、少ない人口でも責任世代が高齢者を支えやすい社会の仕組みを作っていく宇都宮の未来都市です。行政が何も手を打たなければ、2050 年には宇都宮の人口は約 45 万人と今より 7 万人減ります。高齢化率は 3 人に 1 人が 65 歳という時代です。昭和 35 年には 65 歳以上は 10 人に 1 人で、9 人の現役が 1 人の高齢者を支えていました。2050 年には 1 人が 2.3 ～ 2.9 人を支えるのが当たり前になります。持ちこたえるためにも未来都市スーパースマートシティをつくっていかねばなりません。

宇都宮市は平坦な可住面積が約 7 割あり、どこにでも家が建てられますが、下水道や地区市民センター等のサービスがすべてに届くようにしなければなりません。お金もかかり、効率も悪い状況になります。そこで、居住するところ、都心の拠点にするところ、山や緑地帯と、メリハリのあるまちづくりをしていくこと、これが、ネットワーク型コンパクトシティという構想です。

人口が減少すると、税収も減り、都市基盤の維持管理が難しくなります。古い橋の立て替えや除却も出来ず、汚い橋がさらけ出されます。道路や他の建物も同じような状況になります。そうなれば、皆さんの住宅や会社、土地も資産的に価値を失い、宇都宮の社会資産全体が価値の低下を招いてしまいます。また、少子化によって、自分の住んでいる自治体に小学校や中学校が無くなってしまふところが、全国に出てきます。学校が無くなるということは、スーパーや病院、銀行等も同じ

ように減るといことです。住みづらい、生活しづらい状況になれば利便性を求める人が東京圏に移動し地方が衰退する、負の連鎖となります。そうならないように、ネットワーク型コンパクトシティ、スーパースマートシティ、そこに、SDGsの理念を入れて、持続可能な都市づくりをして行こうというのが宇都宮の考え方です。

ネットワーク型コンパクトシティは、住居或いは都市機能、様々な機能をうまく融合させて、その中であれば日常生活がまったく困らない、そういうコンパクトなまちを、宇都宮の中に複数作っていきます。コンパクトなエリアの中には、磁石のように吸い上げる力がないと、地域は衰退してしまいます。その磁石の役割をしていくものが都市機能と呼ばれるもので、例えば、大きな病院や駅、大きな施設です。365日住みやすいように、病院、スーパー、銀行、郵便局、日常生活に必要なものをすべて揃えていく、行政が誘致をしても揃えていくのが、宇都宮のコンパクトシティで、それらを公共交通で結ぶと、ネットワーク型コンパクトシティとなります。

※ひとつの拠点である宇都宮駅東口の様子、整備状況の説明。来年11月にまち開きとして、ホテル、コンベンションホール、広場の竣工式を行なう予定とのこと。

ネットワーク型コンパクトシティには公共交通が必要です。魚の骨でいうと、背骨がLRTで小骨がバス路線です。駅東はまず、背骨の役割としてLRTを通らせて、駅ごとに、縦に南北にバス路線を増やしていきます。バス路線と背骨のLRTのその隙間を埋めるのが地域内交通です。車の運転が出来なくても、誰もが自宅からドアツードア (door to door) でバス停やLRTの停留所に移動ができる、そういうまちを宇都宮は目指していきたいと考えています。

※LRT整備の様子を説明。今、LRTが4両あり、最終的には17両編成になるとのこと。平出に車両基地があり、その前に新しく東部総合公園という名称でスポーツゾーンを作るとのこと。

すべての公共交通を「totra」というSuicaも入っているICカードで、乗り降り、移動が出来るようにします。料金については、宇都宮市内の中であれば片道はどこから乗り継いでも500

円以内という料金体系にして、誰もが公共交通で移動しやすいまちをつくってまいります。

その他宇都宮では、イベントで交流人口を増やしていく、宇都宮市民や企業の税収だけで賄うのではなく、外から来た人にお金を落として貰うことも必要になります。そのためのジャパンカップサイクルロードレース、3人制バスケット3×3ということになります。3×3は世界の8～9つの会場で行ない、ファイナルで世界一を決めるのですが、大会関係のFIVA、協会から宇都宮でオープニングをやらなにかという提案がありました。これをなんとか受けることによって、世界に発信していきたいと考えています。

スーパースマートシティですが、ネットワーク型コンパクトシティを土台にして、経済の循環や共生社会、そして0炭素・カーボンニュートラルを3つの柱にしたものをスーパースマートシティと呼んでいます。スマート推進機構が中心となって、自動運転や地域新電力を進めていきます。大谷では観光型Massプロジェクト、スマート・モビリティなど、その実証実験がすでにスタートしています。また、顔認証システムも一昨年実験がスタートしました。

LRTは100%電気で走ります。茂原にあるゴミ焼却施設のエネルギーを電気に変えたものを、今年設立した新電力会社の宇都宮ライトパワーで買い取ります。LRTはその再生化エネルギーで走ります。また、ご家庭の太陽光発電の卒FITも新電力会社で買い取り、最終的にはすべての宇都宮のエネルギーを再生可能エネルギーでおこなっていくという0カーボン社会を目指してまいります。

スーパースマートシティを作るとともに、そこに、SDGsが掲げる17のゴールをちりばめていって、誰もが無意識のうちに、市民の皆様がSDGsを実践している、達成している、そういうまちの構造に変えていきたいと思っています。全国のモデル都市として実践し、市民の皆さん、次の世代もしっかりと元気に生活ができる、企業も安定して発展し続ける宇都宮を目指してまいります。ロータリアンの皆様も是非、ロータリーの精神をもとに宇都宮のまちづくりにご支援を賜りますよう、お願いいたします。